

歴史と神戸

特集 ひょうご近世～近代史 知られざる断章



泉勇之介商店の木造酒蔵
震災で倒壊を免れたが 2014 年取り壊された

画・田中邦彦画伯

65巻 2号 / 歴史と神戸 / もくじ

特集 ひょうご近世～近代史 知られざる断章

- 世にも希少な尼崎城…………… 下川 勝造 (1)
- 丹波梶原村から見出された偽の往来手形…………… 山内 順子 (14)
- ある西撰儒医の幕末維新 …………… 安国 良一 (26)
- 呉錦堂の没後百年によせて
明石における土地所有について …………… 橘 雄三 (41)
- 落合重信記念賞贈呈式と記念シンポジウム
神戸空襲を記録する会の取り組み これまでとこれから …………… (49)

新聞地域版を読む (40、48) 新入会員紹介 (40)
表紙の作者・田中邦彦氏

卷頭言

歴史資料ネットワークと共催している第二〇回の卒論報告会が三月十五日、大手前大学で開催され、神戸大学の新家亜里紗さんと大阪公立大学の奥野天太さんの二人が報告した。二〇〇六年から始め、新型コロナウイルス禍で流会になった二〇二〇年を除き、これまでに六八人が発表。ここから一三本と、流会した二〇二〇年の予定者の原稿を合わせた一四本を「歴史と神戸」に掲載した。

また節目となる今回は、過去の報告者のうち井上誉さん(二〇〇八年)、中野佳和さん(二〇一〇年)、比嘉美智子さん(二〇一七年)から、現在どのようにに歴史文化に関わり、関心を持っているかを話してもらった。

三人とも教員で、結果的に歴史教育、社会科教育にどう向き合っているかに話題は収れんした。卒論で設けた問いが、今も形を変えて続いていること。構造を見る大切さ、地域と連携すること、実物を提供することの重要性などに共感した。(大國)

兵庫の城 353選

姫路城をはじめ、中世の山城から幕末の砲台跡まで、1000を超す城から厳選して紹介。

本岡勇一・著 ●定価2,420円(税込)

荻原一青の城郭画と兵庫の名城

尼崎城をはじめ兵庫県の城郭図を読み解き、城郭画家・荻原一青の波乱の人生と事績をたどる。

大国正美 辻川 敦・編著

●定価2,200円(税込)

城下町姫路と播磨

村から町への変遷、城下町特有の景観や考古資料など、多角的に播磨・姫路の城下町を解明する。

播磨学研究所・編 ●定価1,980円(税込)

兵庫の庭園ものがたり

日本の名園と探る

兵庫の庭園を27のテーマに分けて魅力を語る。日本の名園との比較や、今後の課題も提言する。

西 桂・著 ●定価2,420円(税込)

ひょうご鉄学いまむかし

播磨のたたら製鉄

西播磨の山間部を中心に行われてきた「たたら製鉄」。兵庫の製鉄の歩みと歴史をひもとく。

兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室・編/村上泰樹 土佐雅彦 坂江渉・監修

●定価1,320円(税込)

ひょうごの仏像探訪

県立歴史博物館で仏教彫刻を担当した著者が、記憶に残る仏像や多彩な仏像の魅力を紹介。

神戸佳文・著 ●定価2,200円(税込)

兵庫県の古代遺跡 1 2

全国有数の遺跡数を誇る兵庫県。特色ある古墳や出土品、近年発掘された遺跡を全2巻で。

櫃本誠一 岸本一宏 大手前大学史学研究所・編 ●定価各4,180円(税込)

自費出版のご相談は

078-362-7143(出版部)

jihishuppan-kpc@kobe-np.co.jp

神戸新聞総合出版センター

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7
TEL078-362-7138(販売) FAX078-361-7552

▶<https://kobe-yomitai.jp/> 公式 X @kobe_np_syuppan

創刊・昭和37年8月15日

会費・年額三千元(1~12月)

隔月刊・歴史と神戸 第65巻第2号

令和8年4月1日発行

編集発行 神戸史学会

〒657- 神戸市灘区岩屋中町三丁目一ノ四

〇六五 田中印刷出版株式会社内

電話(〇七八)八七一〇五五一

振替口座 〇一九〇二四〇一八

▼代表兼編集人 大国正美

▼副代表 増田行雄

▼会計担当 有吉康徳

◆会費納入の銀行振込をご希望の方は、

メールでお問い合わせください。